

5

溶接女子会

5.1 設置背景

溶接職は、社会から「給与水準が低い」「キツイ・キタナイ・キケン」の『3K』のイメージである。「就職機会が少ない」「男性社会である」という認識を持たれている。しかし、実際は、溶接技能者の給与水準は高く、職場環境も改善しつつある。また、一般的に細かい作業が得意と言われている女性向きの職種である。溶接界の課題として、少子化の影響で溶接技能者が減少することが挙げられる。こうした現状を踏まえて、女性と若年者を溶接界へ取り込むために、2016年6月に総合企画会議 広報WG溶接女子拡大検討グループを設立して広報活動を開始することとした。



写真 5.1 溶接女子会 4コマ漫画の1シーン

5.2 活動内容

5.2.1 近未来溶接女子像のデザイン

溶接のイメージアップとして、西日本工業大学デザイン学部の学生がウェア・ヘルメット等をスタイリッシュにデザインした女性ウエルダーのキャラクターを制作した。学生たちは溶接に関する知識がなかったため、実際に溶接を体験して、使用する道具や作業着について学び、デザイン作業を行った。制作した「近未来溶接女子『フラワー』」をはじめとする7つのキャラクターは、2016国際ウエルディングショーの当協会ブースにパネル展示され来場者の注目を集めた。

5.2.2 溶接女子会の開設

女性や若年層を対象としたスマートフォン対応のWebサイト「溶接女子会」を2017年6月に開設した。本サイトでは、企業で溶接職に従事する女性のみならず、溶接技術競技会に出場した高校生、溶接工学を研究する大学生、DIYショップで

活躍する指導員など幅広い分野で活躍する溶接女子を取り上げたインタビュー記事を掲載した。その他にも、就職先や活躍できる業界等、女性が溶接を知るきっかけになる内容を掲載し、溶接界への女性進出を情報面から支援している。アクセス数は、2019年現在平均では約200件/日であるが、500件/日に伸ばすことを目標に、溶接女子拡大検討グループにてコンテンツの改善を検討している。この取り組みは、マスメディアからも注目され、新潟中央テレビ「プライムニュース」内で紹介されたり、雑誌New York Timesの記事中で溶接女子会が引用されるなど反響が相次いだ。

5.2.3 ウエルディング・フォーラムin西日本への出展

溶接女子会の広報を目的として、2017ウエルディング・フォーラムin西日本（2017年6月21～23日）にブースを出展した。近未来溶接女子フラワーのパネル展示や溶接面をモチーフにした



写真 5.1 2017 ウエルディング・フォーラム in 西日本のブース写真

ノベルティうちわを配布して、ブース来場者に溶接女子会の活動を広報した。

5.2.4 関連団体との連携

広報活動を進めるに当たり、国土交通省、日本建設業連合会、建設業振興基金と女性活躍推進について意見交換会を実施した。日本建設業連合会がいきいきと女性が活躍できる建設業を目指して総称した「けんせつ小町」の取り組みを参考に、溶接女子会の指針を固めた。また、建設産業における女性活躍を推進し、女性の入職や定着を促進するため、地域ごと、職種ごとに組成される建設業で働く女性グループの取組内容を網羅的に集約した「建設産業女性活躍推進ネットワーク」に溶接女子会を登録した。本ネットワークでは、各団体の活動概要を紹介するとともに定期的に情報交換会を開催して、女性を採用し定着につなげるため、会社としての体制・受け皿の整備について情報を共有している。

5.2.5 溶接女子コミックの制作

女性を積極的に溶接界へ取り込むために、身近にある溶接について紹介し、女性が溶接技能者資格を取得するまでの道のりを分かりやすく示したコミック制作を2018年に開始した。本コミックでは、被覆アーク溶接、半自動溶接、ステンレス鋼溶接と種目別に各話を展開し、溶接になじみの少ない女性や若年者に向けて溶接技術について



写真 5.2 近未来溶接女子フラワーの等身大パネル



写真 5.3 溶接女子会をPRしたノベルティうちわ

かりやすく紹介し、ものづくりの基盤技術である「溶接」に対する理解が深まることを目的としている。

5.2.6 女性活躍ビデオの制作

鉄構業界における人材不足の対策として、女性の活用が重要である。女性が活躍できる業界作り、職場作りを支援するために、2019年に全国鉄構工業協会が中心となり「女性活躍促進検討WG」を設置し鉄構業界の魅力をもPRするビデオ制作に、鉄骨建設業協会と協力することとなった。ビデオには女性技能者・技術者のインタビュー、建築鉄骨の仕事内容をまとめて、女性採用を訴求するものとしている。

5.3 今後の展望

溶接技能者の有効求人倍率は3倍程度（2019年現在）となっており、深刻な人手不足の打開が求められている。溶接界の魅力を知ってもらうため

に、メディアや展示会等を通じて継続的な広報をすることで、溶接のイメージアップを図る。